

■ 動機

- ✓ 新型コロナの影響で**利用者が激減**。「今、動かないで、いつ動く？」

■ 概要

- ✓ 公共交通の厳しい現状を伝えた上で

「**バスの魅力発信と利用促進の働きかけ**」

「**他の交通事業者や地域社会との共創によるMM**」を重点的に実施

■ 主な取り組み

- ✓ 局長による**トップセールス(企業・団体、行政、公民館)**
- ✓ 高齢者をターゲットに**バス乗り方教室の集中開催**
- ✓ 3年ぶりのイベント、**公共交通に乗ってみたいくなる企画**で公共交通イメージアップ
➡「バスまつり」、「休日の親子連れ」「大半が市外出身の島根大学新入生」「プロスポーツとの連携」等)
- ✓ **SNS**を使った情報発信、**既存広報物の工夫**

■ 効果

- ✓ 本局内での意見収集等を元に、他の**バス・鉄道事業者、地域団体との「共創」**により実施
- ✓ **共創により「街の取り組み」としての統一感**が生まれ、予想以上の効果が得られた



今、動かないでいつ動く!?

松江市交通局 利用促進プロジェクト



今、動かないでいつ動く① 公民館にもゲートボール場にも!? どこでも伺います! 高齢者対象乗り方教室

普及が伸び悩む『高齢者優待ICOCA』の利用促進のため、高齢者を対象にしたバス乗り方教室を開催。

市民との共創

他バスとの連携



- 実施主体
松江市交通局・一畑バス(株)
- 対象
10名以上のグループ・団体
- 内容
・団体の所在地等で運行事業者を選択
・実際の路線バス車両を用いて乗り方を体験
・高齢者優待ICOCAの出張販売
 ▶受付後 後日郵送
- 実績・効果(令和5年1月末現在)
・実施件数=30件 延べ参加人員648名
・高齢者優待ICOCA販売数=164件



▲実機の色、色合を忠実に再現した手作りIC乗車機

今、動かないでいつ動く② 他の交通モード、市民と連携・共創して公共交通利用促進! おでかけしたくなる仕掛け

子どもたちや土地勘のない新入生をターゲットとした企画で、おでかけしたくなる取り組みを実施。

市民との共創

他の交通モードとの連携

大学との共創

- 実施主体
松江市交通局・一畑バス(株)・一畑電車(株)・松江市コミュニティバス
3年ぶり実施の今回から『一畑電車』も参画し、他モード連携!
- 対象
主にファミリー層、市とも連携して、各学校に配布
- 内容
・9月17日~10月30日までの『土日祝日』が対象
- 実績・効果
・実施主体合計の延べ利用件数 **1,807人**
 ▶交通局666人、一畑電車662人など

- 実施主体
松江市交通局・島根大学
学生主体のプロジェクトと連携!
- 対象
島根大学新入生
- 内容
・4月~5月上旬まで市営バス全線が4回まで無料!
- 実績・効果
・大学を通じて事後アンケート収集中

今、動かないでいつ動く③ コロナに負けるな! 路線バスや公共交通に親しめるイベント開催

子どもから大人まで、『バスを身近な存在に感じてもらう』ために、バスまつりやイベントに積極的に出店

市民との共創

他の交通モードとの連携



- 第11回バスまつり
松江市交通局・一畑バス(株)が主催、県下の他のバス会社にも声掛けして開催。
3年ぶり実施 3年前の約2倍となる約4,800人の来場者
大型バス教習車を活用した、バス運転体験も抽選になるほどの人気。
- バス・鉄道ミニフェスタ in イオン松江SC
松江市交通局、一畑バスに加えて、JR西日本、一畑電車、松江市公共交通利用促進市民会議も参加。普段、公共交通に無縁な層(自家用車移動が中心のファミリー層)に公共交通を知ってもらう取り組み。
- 集まれ はたらくくるま2022
市内在住の40歳有志が企画したイベントに出店。
イベントの目玉として、貸切バスによる市内遊覧には長蛇の列ができるほど好評

今、動かないでいつ動く④ その他にも…まだまだできるわかりやすい情報発信

■松江市報への掲載

■総合時刻表の工夫

■他社との連携 —競合他社から共創他社へ—

松江市交通局YouTubeチャンネル
動画はコチラ▶



市報にマンガでわかりやすくICカード解説を掲載。マンガ作成は、市の広報室出演は、すべて交通局職員

ページ構成を工夫して、時刻表の裏表紙にバスの乗り方を掲載。
—他社ではやっていない。それなら本局でもできる—

●㊦いろいろなイベントを連携して進めていく中で、他社にアニメ好きな職員がいることがわかり、それならとアニメ調の利用促進ポスターを作成。(アニメは、他社職員、それ以外は交通局作成)

●㊦「乗務員不足は地域の共通課題」ということで、他社と連携して乗務員募集動画を作成して、公式youtubeで公開。(出演も作成も交通局・他社バス職員)

上記のいずれも、高価なソフトやデザイナーを使わず、職員がPower pointのみで作成